新機能および変更された機能に関する情報

この章は、次の項で構成されています。

- このリリースの新規情報および変更情報，1 ページ

このリリースの新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースに関するマニュアルでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するコンフィギュレーション ガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。このリリースで新しくサポートされるハードウェアについては、URL で『http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手可能な『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』』を参照してください。

表 *1*：*Cisco UCS* リリース *2.2(1)* の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
直接接続による Cisco UCS C シリーズ サーバ統合	FEX を使用せずにファブリック インターコネクトに Cisco UCS C シリーズ ラック サーバを接続することができます。	この機能は、『*Cisco UCS C-Series Server Integration with Cisco UCS Manager 2.2*』に記載されています。 C シリーズ統合ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/partner/products/ps11736/products_installation_and_configuration_guides_list.html

機能	説明	参照先
Cisco UCS C シリーズ M3 ラック サーバでのボード コントローラ ファームウェアのアクティブ化	Cisco UCS C シリーズ M3 ラック サーバは、eUSB や I/O コネクタなどの多くのサーバ機能を制御するボードコントローラ ファームウェアを搭載しています。これらのラック サーバのボード コントローラ ファームウェアをアクティブにできます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS B-Series GUI Firmware Management Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS B-Series CLI Firmware Management Configuration Guide*』 ファームウェアの設定ガイドは次のURLから確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
ファームウェア 自動同期サーバ ポリシー	最近検出されたサーバのファームウェア バージョンをいつ、どのようにアップグレードするかを決定できます。このポリシーを使用すると、最近検出された関連付けられていないサーバのファームウェア バージョンをアップグレードして、デフォルトのホスト ファームウェア パックで指定されたファームウェア バージョンと一致させることができます。また、ファームウェアのアップグレード プロセスをサーバが検出された直後または一定時間後に実行する必要がある場合にも指定できます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS B-Series GUI Firmware Management Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS B-Series CLI Firmware Management Configuration Guide*』 ファームウェアの設定ガイドは次のURLから確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

機能	説明	参照先
IPv6 アドレス指定	IPv6 アドレスで以下を設定できます。 • アクセス サービス • ファブリック インターコネクト • 外部クライアント • SNMP トラップ • 証明書要求 • IP プールとアドレス ブロック • VLAN グループ • LDAP、RADIUS、および TACACS+ プロバイダー グループ • ブレードおよびラック サーバのスタティック IP • サービス プロファイルとサービス プロファイル テンプレート • バックアップおよび復元処理	IPv6 への準拠
インバンド管理サポート	各 CIMC に対し、インバンド アドレス、2 つの IPv4 および 2 つの IPv6 を設定できます。インバンド VLAN グループ、サービス プロファイルおよびサービス プロファイル テンプレートを設定できます。	インバンド管理サポート
ブート順序の拡張	レガシーまたは UEFI ブート モードのどちらかを選択できます。Cisco UCS M3 ブレード サーバおよびラック サーバで UEFI ブート モードを使用すると、第 2 レベルのデバイスをブート順序に追加し、セキュア ブートをイネーブルにできます。	サーバ ブートの設定

機能	説明	参照先
ローカル ストレージのモニタリング	ブレードまたはラック サーバに物理的に接続されているローカル ストレージに関するステータス情報をモニタできます。これには、RAID コントローラ、物理ドライブおよびドライブ グループ、仮想ドライブ、RAID コントローラ バッテリ（BBU）、Transportable Flash Modules（TFM）およびスーパーキャパシタ、FlexFlash コントローラおよびSD カードが含まれます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次のURL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
ローカル SD カードのモニタリングおよび FlexFlash サポート	内部のセキュア デジタル（SD）メモリ カードのサポートが可能になります。ローカル ディスク ポリシーに FlexFlash をイネーブルにして、FlexFlash スクラブ ポリシーを持つ RAID ペアに新しい SD カードを設定し、SD カードの HV パーティションから起動することができます。	FlexFlash のサポート
TPM インベントリ	トラステッド プラットフォーム モジュール（TPM）のモニタリング（TPM が存在するか、イネーブルか、またはアクティブかなど）が可能になります。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次のURL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
UDLD のサポート	ケーブルの物理設定をモニタし単方向リンクの存在を検出する、単方向リンク検出（UDLD）がイネーブルになります。	UDLD の概要

機能	説明	参照先
VMQ 接続ポリシー	vNIC に対し VMQ 接続ポリシーを設定することができます。VMQ により、管理オペレーティング システム全体のネットワーク パフォーマンスが向上します。	VMQ 接続ポリシー
DIMM のブラックリスト化のサポート	メモリ テスト実行メッセージをモニタし、DIMM SPD データ内でメモリ エラーに遭遇した DIMM をブラックリストに載せます。これにより、ホストは修正不可能な ECC エラーに遭遇した DIMM をマップから外すことができます。	DIMM のブラックリスト化
DIMM の修正可能なエラー処理	サーバ内のすべての DIMM での修正可能および修正不可能なメモリ エラーをリセットすることができます。	DIMM の修正可能なエラー処理
二要素認証	サードパーティ認証ソフトウェアと組み合わせて、RADIUS および TACACS+ プロバイダー グループにパスワード + トークン ログイン方式を実行することにより、Cisco UCS Manager へのよりセキュアなアクセスを設定することができます。	二要素認証

機能	説明	参照先
Hyper-V SRIOV 用 VM-FEX 統合	Cisco UCS Manager と Microsoft SCVMM の統合により、VM-FEX テクノロジーが Microsoft 仮想化プラットフォームに拡張されます。このアーキテクチャにより、Cisco UCS Manager は Microsoft SCVMM がネットワーキング スタックをセットアップするために使用するネットワーキング オブジェクトを設定することができます。Microsoft SCVMM は、Cisco UCSM によって作成されたネットワーク オブジェクトを受け入れ、VM をホストする Microsoft Hyper-V ホストにそれらを展開します。 Hyper-V は、SR-IOV テクノロジーを使用して仮想接続を展開します。リリース 2.2 での SR-IOV サポートにより、Microsoft SCVMM との管理プレーン統合が強化され、Hyper-V ホストに一元化された VM ネットワーク管理が提供されます。この導入では、Cisco UCS VIC アダプタで使用可能な SR-IOV テクノロジーを活用し、ファブリック インターコネクトを VM 対応にすることができます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS Manager VM-FEX for Hyper-V GUI Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS Manager VM-FEX for Hyper-V CLI Configuration Guide*』 VM-FEX の設定ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

表 *2* : ***Cisco UCS*** リリース *2.2(2)* の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
NetFlow のモニタリング	netflow 対応ルータから IP トラフィック データを収集できます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
LACP	Link Aggregation Control Protocol（LACP）ポリシーを使用して、リンク集約グループをさらに制御できます。	LACP ポリシー
消耗レベルのモニタリング	特定の Cisco UCS ブレード サーバで、ソリッド ステート ドライブの寿命をモニタリングできます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
CIMC セキュリティの機能拡張	リモート接続を制限し、vMedia 暗号化を使用できます。	CIMC セキュリティ ポリシー

機能	説明	参照先
グラフィックス カードのモニタリング	特定の Cisco UCS ラック サーバで、グラフィックス カードとコントローラのプロパティを表示できます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
自動インストール ファームウェアの機能拡張	アップグレードする前に、警告と潜在的な問題のリストを表示できます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS Manager VM-FEX for Hyper-V GUI Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS Manager VM-FEX for Hyper-V CLI Configuration Guide*』 VM-FEX の設定ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
スクリプト可能な vMedia のサポート	リモート ファイルの場所から仮想メディアをマウントできます。CLI および WebGUI CIMC インターフェイスを通じて使用できます。この機能は、NFS、CIFS、HTTP、HTTPS などの、複数の共有タイプに対応しています。	CIMC マウント vMedia

機能	説明	参照先
コミュニティ VLAN のサポート	ファブリック インターコネクトでコミュニティ VLAN を作成でき、特定のプライマリ VLAN で複数のコミュニティ VLAN を維持できます。また、サーバ vNIC のコミュニティ アクセスと共に、無差別アクセスとトランク モードもサポートします。	コミュニティ VLAN
ロギング エクスポータ	ログ ファイルが削除される前に、リモート サーバにエクスポートできます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

表 *3*：*Cisco UCS* リリース *2.2(3)* の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
Anonymous Reporting	SMTP サーバから匿名レポートを取得できます。この機能は、Call Home がディセーブルである場合でもイネーブルにできます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

機能	説明	参照先
ファブリック インターコネクトの情報ポリシー	Cisco UCS に接続されたアップリンク スイッチが表示されます。ファブリック インターコネクトの情報ポリシーを有効にすると、ファブリック インターコネクトの LAN および SAN ネイバーを表示できます。	ファブリック インターコネクトの情報ポリシーの設定
DIMM のブラックリスト化のサポート	Cisco UCS C シリーズ ラック サーバがサポートされるようになりました。	DIMM のブラックリスト化
C ダイレクト ラック ライセンス	C ダイレクト ラック ライセンスはラック サーバに接続されたポートでサポートされます。	C ダイレクト ラックのライセンスのサポート
CIMC セキュア ブート	Cisco の署名付きファームウェア イメージのみが、Cisco C シリーズ ラック サーバ上でインストールおよび実行できます。	CIMC セキュア ブート
UEFI セキュア ブート	Cisco UCS C シリーズ ラック サーバがサポートされるようになりました。	サーバ ブートの設定
FX3S コントローラ	SD カードで更新したコントローラにより、コントローラのリセット、SD カードのフォーマット、ペアの SD カードの自動同期の有効化を行うことができます。	FlexFlash FX3S のサポート
オーバーレイ ネットワークのステートレス オフロード（NVGRE）	NVGRE を使用してチェックサム オフロードのイーサネット アダプタ ポリシーを作成できます。	NVGRE によるステートレス オフロードを有効化するためのイーサネット アダプタ ポリシーの設定
オーバーレイ ネットワークのステートレス オフロード（VXLAN）	VXLAN を使用してチェックサム オフロードのイーサネット アダプタ ポリシーを作成できます。	VXLAN によるステートレス オフロードを有効化するためのイーサネット アダプタ ポリシーの設定

表 *4* : ***Cisco UCS*** リリース ***2.2(4)*** の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
Microsoft SMB ダイレクト用 RDMA over Converged Ethernet（RoCE）サポート	同じイーサネットブロードキャストドメインの 2 つのホスト間で通信できるようにします。RoCE は、低遅延、低 CPU 使用率、およびネットワーク帯域幅使用率の高さによって、従来のネットワーク ソケット実装と比較して優れたパフォーマンスを提供します。RoCE を搭載した Microsoft SMB ダイレクトは Windows 2012 R2 でのみサポートされています。	SMB ダイレクト用 RDMA Over Converged Ethernet
ファブリック インターコネクトの vEthernet インターフェイスの LLDP サポート	Cisco ACI を使用する場合、LAN アップリンクは ACI リーフ ノードに接続されます。Cisco UCS Manager Release 2.2.4 では、vEthernet インターフェイスで LLDP を有効化および無効化できます。	ファブリック インターコネクト vEthernet インターフェイスの Link Layer Discovery Protocol の設定
ポリシーベースのポートエラー処理	Cisco UCS Manager がアクティブな NI ポートでエラーを検出し、エラーディセーブル機能がイネーブルの場合、Cisco UCS Manager はエラーが発生した NI ポートに接続されているそれぞれの FI ポートを自動的にディセーブルにします。	ポリシーベースのfポート エラー処理

機能	説明	参照先
高度なローカル ストレージ設定	この機能を使用すると、次の作業を行うことができます。 • 複数の仮想ドライブを設定します。 • ストレージプロファイルを作成して使用することで、ストレージディスクの数、これらのディスクのロールと用途、およびその他のストレージパラメータを柔軟に定義できます。 • ストレージコントローラのプライマリ ブート デバイスとしてローカル LUN または JBOD ディスクを指定します。 • 複数のコントローラでローカル ストレージを設定します。 • アウトオブバンド ローカル ストレージを設定します。	ストレージ プロファイル
自動内部バックアップ	インフラストラクチャ ファームウェアのアップグレード中に、自動、完全状態、内部のバックアップ ファイルを作成します。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS B-Series CLI Firmware Management Configuration Guide*』 ファームウェアの設定ガイドは次の URL から確認できます。 http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-manager/products-installation-and-configuration-guides-list.html

機能	説明	参照先
ファブリック インターコネクト トラフィックの待避	アップグレード中に、IOM または FEX を介してファブリック インターコネクトに接続されたすべてのサーバからファブリック インターコネクトを通過するトラフィックがないように、ファブリック インターコネクトを退避できるようにします。	ファブリックの退避
IOM の確認	シャーシの特定の IOM を確認できるようにします。	IO モジュールの認識
トラステッド プラットフォーム モジュール（TPM）サポート	TPM と TXT を有効および無効にできます。Cisco UCS M4 ブレードおよびラックマウント サーバは、TPM および TXT をサポートします。	トラステッド プラットフォーム モジュール
Consistent Device Naming（CDN）サポート	一貫した方法でイーサネット インターフェイスに名前を付けることができます。一貫したデバイスの命名（CDN）は Windows 2012 R2 でのみサポートされます。	一貫したデバイスの命名
スクリプト可能な vMedia の機能拡張	変数がマッピングされたファイル名：vMedia マウント イメージのファイル名を手動で指定するか、vMedia ポリシーが割り当てられたサービス プロファイルの名前が自動的に割り当てられます。 CIFS 認証プロトコル サポート：リモート サーバと通信するためのプロトコルとして CIFS を使用する場合、認証に使用するプロトコルを選択できます。	CIMC vMedia ポリシーの作成
SNMP ホスト名の機能拡張	SNMP トラップの作成中、SNMP ホスト名として IPv4 アドレスの完全修飾ドメイン名を使用できるようになります。	SNMP トラップの作成

機能	説明	参照先
サーバ プール ポリシー資格情報の機能拡張	サーバプール ポリシー資格情報を作成する場合、HDD、SSD、または未指定としてストレージディスク タイプを指定できるようになります。	ストレージ資格情報の作成
UEFI ブートモードによるサービス プロファイルの移行のサポート	サービス プロファイルがあるサーバから別のサーバに移行されても、宛先サーバの BIOS は、ブートローダー情報をロードし、UEFI ブート モードでブートし続けます。	UEFI ブート パラメータ
Intel MPI による usNIC サポート	Open および Intel® MPI 技術を備えた Cisco usNIC を使用するための、環境セットアップとインストール ガイダンスを提供します。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B* シリーズ ブレード サーバの *Cisco usNIC* 展開ガイド • *Cisco UCS C* シリーズ ラックマウント スタンドアロン サーバの *Cisco usNIC* 導入ガイド usNIC 導入ガイドは次の URL から確認できます。 • http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-manager/products-installation-and-configuration-guides-list.html • http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-integrated-management-controller/products-installation-and-configuration-guides-list.html

表 *5*：***Cisco UCS*** リリース ***2.2(7)*** の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
ファブリック インターコネクトの再起動後、ファームウェアアップグレードでVIF/インターフェイスのステータスを確認	ファブリックインターコネクトの最後のリブート後に再確立されないサービスは Cisco UCS Manager に表示されます。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS B-Series GUI Firmware Management Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS B-Series CLI Firmware Management Configuration Guide*』 ファームウェアの設定ガイドは次のURLから確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
vNIC 冗長ペア	vNIC/vHBA テンプレート ペアにより、共通したパラメータのセットが設定された vNICs/vHBA 2 つをサポートします。	vNIC テンプレート
ピア I/O モジュールの工場出荷状態へのリセット	アクセスできない I/O モジュールをそのピア I/O モジュールからリブートできます。	ピア I/O モジュールからの I/O モジュールのリセット
vNIC テンプレート CDN ソース	Consistent Device Naming（CDN）ソースを vNIC 名として選択できるようにます。vNIC名はカスタマイズするか、vNICインスタンスから派生させることができます。	vNIC テンプレート

機能	説明	参照先
ホスト ファームウェア パッケージの強化	新しいホストファームウェアパッケージを作成するとき、または既存のホスト ファームウェア パッケージを変更するときに、ホストファームウェアパッケージから特定のコンポーネントのファームウェアの除外を可能とします。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • 『*Cisco UCS B-Series GUI Firmware Management Configuration Guide*』 • 『*Cisco UCS B-Series CLI Firmware Management Configuration Guide*』 ファームウェアの設定ガイドは次のURLから確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
EFI シェルをブートデバイスとする	ブート デバイスとして EFI シェルのブートポリシーの作成を可能とします。EFI シェルからブートすると、データ損失が抑制され、さまざまなブートシナリオのスクリプト作成、デバッグ、および管理に関するオプションが増えます。EFI シェルは、[Uefi] ブート モードでのみブートデバイスとしてサポートされます。	ブート ポリシーの EFI シェル ブートの設定
マルチキャスト ハードウェア ハッシュ	マルチキャストハードウェアハッシュを有効にすると、IOM とポートチャネル内のファブリックインターコネクト間のすべてのリンクがマルチキャストトラフィックに使用できるようになります。	シャーシ/FEX ディスカバリ ポリシー

表 *6*：***Cisco UCS*** リリース ***2.2(8)*** の新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
次回のブート	新しく、メンテナンス ポリシーに [On Next Boot] オプションが用意されました。このオプションは、[User Ack] または [Timer Automatic] のいずれかと組み合わせて使用します。	メンテナンス ポリシー
グレースフル シャットダウン	グレースフル シャットダウン オプションまたはサーバ リブートを必要とするサービス プロファイルの変更によるサーバ リブートを許容すると、Cisco UCS Manager はハード シャットダウンを実行する前にメンテナンス ポリシーで指定された時間が経過するまで待機します。	メンテナンス ポリシー
エンド ポイントのヘルス モニタリング	ファブリック インターコネクト、IOM、FEX、ブレード サーバ、ラック サーバのエンドポイントのヘルス モニタリングを強化します。	この機能は、次の設定ガイドで説明されています。 • *Cisco UCS B-Series GUI System Monitoring Guide* • *Cisco UCS B-Series CLI System Monitoring Guide* システム モニタリング ガイドは次の URL から確認できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html
サーバ間と該当するサービス プロファイルとの電源同期	サービス プロファイルの任意の電源状態が、サーバの実際の電源状態と異なる場合、電源同期ポリシーは、該当するサービスプロファイルとサーバの電源状態のグローバル（デフォルト）な同期を可能とします。	電源同期ポリシー

機能	説明	参照先
ブレード サーバの初期設定へのリセット	ブレード サーバを出荷時の設定にリセットできるようになりました。デフォルトでは、出荷時へのリセット操作は、ストレージ ドライブおよび flexflash ドライブに影響しません。これはデータの損失を防止するためです。	ブレードサーバの出荷時のデフォルト設定へのリセット
160 の LDAP グループ マッピングのサポート	Cisco UCS Manager で最大 160 個の LDAP グループ マッピングがサポートされるようになりました。	LDAP グループ マッピング